



国府台女子学院 小学部だよ

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

しなやかな心を育む

ミラノ・コルティナオリンピックでは競技の様子はもちろんのこと、失敗を乗り越える姿、チーム全体で応援する姿など選手の活躍に毎日感動の連続でした。

さて、暖かな日差しに春の訪れを感じるこの頃です。春は別れと出会いの季節です。新たな場面への期待と共に少し不安な気持ちもあるかもしれません。ゆったりとお子さんの話を聞いてあげてください。

また、3月は今年度のまとめの時期でもあります。本校の三大目標であり、内面を磨くために大切な教えである「敬虔」「勤労」「高雅」についてこの1年間を素直な心で振り返ってみましょう。

感謝の気持ちをもって日々過ごすことができましたか。周りの人に優しくできましたか。自分の役割を最後まで果たすことができましたか。一生懸命に物事に取り組むことができましたか。うまくいかないことを人のせいばかりにしませんでしたか。

3月行事予

- 5日 6年生茶道教室
- 7日 クラブ発表会・6年生を送る会
- 9日 短縮日課開始
仏教朝礼、委員会
- 14日 休業日
- 16日 児童自宅学習
- 19日 5, 6年生卒業式予行練習
- 20日 小・中卒業式(1~4年生自宅学習)
- 21日 終業式
- 22日~4/5 春期休業

- * 4月6日 始業式
- 7日 入学式



良かったことを考えていると、気持ちが軽く温かくなってきますね。うまくいかなかったことは、次はどうすれば良いのかを考え、実行してみましょ。よくよ思い悩むより、行動してみることが大切です。

さらに、失敗したと落ち込むよりも、むしろ、成長のチャンスをもたらえたことに感謝し、発想の転換をしましょう。物事のとらえ方次第であわせな気持ちになり、幸運を呼び寄せることができるかもしれません。

私たちは人と関わり合いながら生きています。良いことばかりではないと思いますが、考え方次第です。トラブルを恐れず、むしろ考え方のトレーニング



～健やかな成長を願って～
今年、礼拝委員会の児童と職員と一緒にひな人形の飾り付けをしました。

6年生茶道教室

卒業まで残りわずかとなりました。今年も6年生は、図工の時間に作成して焼いた自分のお茶碗を使っての茶道教室があります。正座をして作法を習い、少し緊張しながらいただくお菓子とお茶は格別な味です。すてきな思い出となりますように。

今月の目標

整理整頓をし、1年間のまとめをしましょ

『不安の正体とは』

最近、社会の流れを見ていると、「共生(きょうせい)」という理想が揺らぎ、厳しいルールで他国の人を選別(分断)しようとする風潮が浮き彫りになっています。世界のニュースを見てみると、欧州を中心に「多民族社会」への不安が「外国人問題」や「反移民」といったあからさまな排斥運動の形であらわれ始めています。私たちは今、社会を覆う「不安の正体」を正しく見極めなければなりません。歴史を振り返れば、20世紀に特定の民族を「悪の民族」として迫害した欧州の悲劇や、関東大震災の混乱の中で流れたデマによって人々に向けられた殺意など、忘れてはならない苦い教訓が数多くあります。こうした悲劇に共通するのは、人々が抱く不安に対して、誰かを『敵』や『異物』として攻撃したり、遠ざけることで解決を図ろうとしてしまった点です。異なる文化や背景を持つ人々への戸惑いを、排除すべき対象として安易に捉えてしまうことは、一見すると自分たちの平穏を守る手段のように見えるかもしれませんが、誰かを『自分たちとは違うもの』として排除する論理は、一度広がれば歯止めが効かなくなる危うさを持っています。その攻撃は、やがて身近な隣人であった少数派の人々へ、そして最後には自分たちとは意見の異なる仲間へと向けられていくのです。これこそが、他者を拒絶することの危うさです。特定のグループを標的にする考え方は、偏見と憎しみを深めるだけであり、対話を閉ざし、社会の中に「分断」を生んでいくのです。

私たちに求められているのは、不安を誰かへの攻撃に変えることではなく、対話を通じて「共に生きる道」を探る知恵ではないでしょうか。こうした混迷の時代だからこそ、仏教で説く『上品(じょうぼん)』という生き方を考えてみたいと思います。『上品』とは、見た目の華やかさや育ちの良さで決まるものではありません。どんな状況でも相手への敬意を忘れず、相手の苦しみを自分の事として想像する『慈悲(じひ)の心』を持つことです。そして、物事の本当の姿を冷静に見抜く『智慧(ちえ)』を持ち、正しさを選ぼうとする姿勢を指します。私たち人間は、家族や友人を大切に温かい心を持っています。その一方で、時として誰かを疑ったり、排斥したりしてしまう脆(もろ)さも抱えています。情報のあふれる現代社会では、誰かを攻撃することで一時的安心感を得ようとする風潮があります。しかし、そうした空気に流されそうになった時こそ、立ち止まり考えることが大切になってくると思います。『不安の正体』は何なのか? 誰かを否定することで、私たちの平穏は守られるのか? と自問自答し、誰かを攻撃したくなる誘惑をきっぱりとはねのけ、対話の道を閉ざさ